

SoftTennisFesta 2022 全国中学生ソフトテニス対抗戦結果報告

令和3年度都道府県対抗全日本中学生大会の中止に伴い富山県高岡スポーツコアを会場として、表記大会が令和4年4月30日(土)～5月1日(日)に開催されました。

茨城県選抜チームの成績は、男子が準優勝、女子が第三位と素晴らしい結果でした。

監督・コーチ陣の方々の着実な取り組みが成績に繋がったと確信しております。

是非、夏の関東大会・全国大会では更なる活躍を期待致します。(茨城県ソフトテニス連盟 額賀)



■大門監督コメント (男子)
 男子チームは、8名それぞれに長所があり、中でも大門・白川ペア(U-14日本代表)は大将としてチームをよく引っ張りました。予選リーグ、決勝トーナメントと順当に勝ち上がり、迎えた決勝戦。相手は、U-14を4名擁する東京都でしたが、選手は臆することなく堂々とプレーしました。僅差で優勝は逃しましたが、最後まで戦う姿勢を貫いた選手達を誇らしく思います。選手達は、今回の経験を今後の競技活動に活かし、更に成長していくことでしょう。なお、県連関係者の皆様には、大会参加をサポート頂き心より感謝いたします。

■増子監督コメント (女子)
 大会初日は、風が強く、2日目は雨の中の試合になった。3位に入賞できた最大の要因は、強化練習会から全員で取り組んできた最後までボールを追い続けるという姿勢だと思う。その姿勢が雨・風の中、大事な1ポイントとることができ、チーム力を高めていった。選抜チームを結成したときの目標である全国制覇は、できなかったが、精神力・団結力は主将の穂吉を中心に最高のチームができ、今回の結果に生徒たちを誇りに思う。

- <選抜チーム選手名>
- 男子選手：大門・白川・本間・高嶋(取手一)、長谷川・堀(霞ヶ浦附属)、善福(水戸五)、中原(古河一)
 - 女子選手：穂吉・柏・松本・戸口(取手一)、野部・飯塚(下妻東部)、大図(水戸三)、木村(霞ヶ浦附属)

以上